

一般講演 午前の部

開始時間	第1会場		第2会場	
	講演番号	演題・発表者・所属	講演番号	演題・発表者・所属
10:00	1	イネ品種の低リン酸土壌での生育と 養分吸収の比較 近藤始彦 <sup>*1</sup> ・A.カンダカル <sup>2</sup> ・石丸努 <sup>1</sup> ・ 荒井(三王)裕見子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> )農研機構・作物研・ <sup>2</sup> )バングラデッシュ土壌開発研究所)	16	The potential of selection salt tolerance in wheat genotypes at germination and seedling stages Jun-Ichi Sakagami <sup>1</sup> , Salah El-Hendawy <sup>*1,2</sup> , Yuncai Hu <sup>3</sup> and Urs Schmidhalter <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> )Japan Intl. Res. Cent. Agric., <sup>2</sup> )Fac. Agric., Suez Canal Univ., <sup>3</sup> )Dep. Plant Sci., Technical Univ. Munich)
10:15	2	関東地方における飼料米有望品種の乾物生産 石川哲也 <sup>*</sup> ・中西直人 (中央農業総合研究センター)	17	水田圃場内における土壌水分の過剰による コムギの減収程度の推定 小柳敦史 <sup>*</sup> ・川口健太郎 (農研機構 作物研究所)
10:30	3	半導体発熱素子製加温シートとシグモイド型 被覆尿素を組み合わせた 省力的な水稻乳苗育成技術の開発 宇賀神七夕子 <sup>*</sup> ・在原克之 (千葉県農林総合研究センター)	18	小麦の緩効性肥料を用いた全量基肥施肥法 石井博和 (埼玉農総研)
10:45	4	水稻ビニールプール育苗法の改良 に関する検討(第2報) 高橋行継 <sup>*1</sup> ・吉田智彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> )宇都宮大学農学部附属農場・ <sup>2</sup> )宇都宮大学農学部)	19	硬質小麦「タマイズミ」の生育期間の形質と 子実タンパク質含有率の関係 山口昌宏 (栃木県農業試験場)
11:00	5	宇都宮大学附属農場育成水稻品種 「ゆうだい21」に適する肥培管理法の検討 加藤治 <sup>*1</sup> ・平井英明 <sup>1</sup> ・高橋行継 <sup>1</sup> ・前田忠信 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> )宇都宮大学大学院農学研究科・ <sup>2</sup> )宇都宮大学)	20	完全粉状質の胚乳を有するオオムギ系統 の育成とその精麦品質 塔野岡卓司 <sup>*1,2</sup> ・青木恵美子 <sup>1</sup> ・ 吉岡藤治 <sup>1</sup> ・乙部千雅子 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> )農研機構 作物研究所・ <sup>2</sup> )筑波大学生命環境科学研究科)
11:15	6	水稻糯新品種「千葉糯23号」の 栽培法と収穫適期 大内昭彦 <sup>*1</sup> ・吉野裕一 <sup>2</sup> ・在原克之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> )千葉県農林総合研究センター・ <sup>2</sup> )東葛飾農林振興センター)	21	埼玉県長期試験圃場における水稻後作大麦 の収量に対する気象条件の影響 箕田豊尚 <sup>*</sup> (埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所)
11:30	7	栽植密度の違いが水稻コシヒカリの収量と 玄米外観品質に及ぼす影響 和田義春 <sup>*</sup> ・糸川春樹 (宇都宮大学農学部)	22	2007年茨城県奥久慈産コシヒカリにおける 食味関連形質と炊飯米の微細構造 新田洋司 <sup>1</sup> ・新植実広 <sup>*1</sup> ・浅木直美 <sup>1</sup> ・ 松田智明 <sup>1</sup> ・伊藤常雄 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> )茨城大学農学部・ <sup>2</sup> )茨城県県北農林事務所)
11:45	8	山梨県の平坦地域における 水稻疎植栽培の特徴 石井利幸 <sup>*</sup> ・上野直也・花形敏男 (山梨県総合農業技術センター)	23	無代かき移植栽培における水稻の生育と収量、 機械化作業体系の経費 坂井正史 <sup>1</sup> ・矢内浩二 <sup>*2</sup> ・在原克之 <sup>2</sup> ・池田清一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> )千葉県農業大学校・ <sup>2</sup> )千葉県農林総合研究センター)

一般講演 午後の部

開始時間	第1会場		第2会場	
	講演番号	演題・発表者・所属	講演番号	演題・発表者・所属
15:00	9	<p>水稲における止葉の光化学系Ⅱに及ぼす オゾンおよび二酸化炭素の相互作用</p> <p>小早川紘樹*・今井 勝 (明治大学農学部)</p>	24	<p>大豆難裂莢性遺伝子の有無による 品質劣化程度の差異</p> <p>永島宏慧*・篠崎敦 (栃木県農業試験場)</p>
15:15	10	<p>コシヒカリ/タカナリの戻し交雑自殖(BC<sub>1</sub>F<sub>6</sub>) 系統群を用いた葉身傾斜角度の 量的形質遺伝子座(QTL)解析</p> <p>早田一也*<sup>1)</sup>・高井俊之<sup>2)</sup>・山本敏央<sup>2)</sup>・ 大川泰一郎<sup>1)</sup>・矢野昌裕<sup>2)</sup>・平沢正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京農工大学大学院農学府・ <sup>2)</sup>農業生物資源研究所)</p>	25	<p>根粒超着生ダイズ品種「関東100号」の遅まき による収量低下に対する密播の補償効果</p> <p>松浦里香*・平塚(野々川)香織・ 磯部勝孝・石井龍一 (日本大学生物資源科学部)</p>
15:30	11	<p>水稲における極強稈形質の 量的形質遺伝子座の解析 —リーフスターとタカナリの交雑後代を用いて—</p> <p>酒井幸*<sup>1)</sup>・山本敏央<sup>2)</sup>・矢野昌裕<sup>2)</sup>・ 河野いづみ<sup>3)</sup>・平沢正<sup>1)</sup>・大川泰一郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京農工大学大学院農学府・ <sup>2)</sup>農業生物資源研究所・<sup>3)</sup>STAFF 研究所)</p>	26	<p>中国乾燥地におけるマルチ被覆が ダイズの生育、収量および根粒に及ぼす影響</p> <p>磯田昭弘<sup>1)</sup>・宮内陽介*<sup>1)</sup>・王培武<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>千葉大学大学院園芸学研究科・ <sup>2)</sup>石河子中亜干早農業環境研究所)</p>
15:45	12	<p>コシヒカリの強稈準同質遺伝子系統の 倒伏抵抗性</p> <p>西谷亮一*<sup>1)</sup>・尾崎秀宣<sup>2)</sup>・落合佑介<sup>1)</sup>・ 蛭谷武志<sup>2)</sup>・村田和優<sup>2)</sup>・平沢正<sup>1)</sup>・大川泰一郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京農工大学大学院農学府・ <sup>2)</sup>富山県農林水産総合技術センター)</p>	27	<p>プライミング処理によるラッカセイの 出芽および収量に及ぼす影響</p> <p>野島 博・黒田竜也* (千葉大学 園芸学部)</p>
16:00	13	<p>水稲多収性品種アケノホシ/タカナリ交雑後代 系統におけるバイオマス生産および 光合成の特性 —両親との比較—</p> <p>後藤舞*<sup>1)</sup>・白田秀明<sup>2)</sup>・平沢正<sup>1)</sup>・大川泰一郎<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京農工大学農学府・<sup>2)</sup>帝京大学医学部)</p>	28	<p>異なる栽培地における ラッカセイの生育および収量</p> <p>磯田昭弘・宮野鼻一就* (千葉大学大学院園芸学研究科)</p>
16:15	14	<p>ハバタキの染色体断片をコシヒカリの 第11 染色体に置換した系統の 光合成速度と乾物生産</p> <p>富田綾*<sup>1)</sup>・村田和優<sup>2)</sup>・蛭谷武志<sup>2)</sup>・ 大川泰一郎<sup>1)</sup>・平沢正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京農工大学大学院農学府・ <sup>2)</sup>富山県農林水産総合技術センター)</p>	29	<p>オタネニンジンにおける培養液濃度と遮光が 生育に及ぼす影響</p> <p>土屋史規*・野島博 (千葉大学園芸学研究科)</p>
16:30	15	<p>コシヒカリ/タカナリ戻し交雑自殖(BC<sub>1</sub>F<sub>6</sub>) 系統群にタカナリを大きく上回る 光合成速度を示す系統が見出された</p> <p>内田万咲*<sup>1)</sup>・早田一也<sup>1)</sup>・高井俊之<sup>2)</sup>・ 山本敏央<sup>2)</sup>・大川泰一郎<sup>1)</sup>・矢野昌裕<sup>2)</sup>・平沢正<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京農工大学大学院農学府・ <sup>2)</sup>農業生物資源研究所)</p>	30	<p>筒栽培がオタネニンジンの 根の生育に及ぼす影響</p> <p>野島博・相川芳邦* (千葉大学園芸学部)</p>